■冊子名：パラダイムシフト 結核終息のための世界計画：2018-2022

■発行：日本リザルツ（2020年8月）

■監修：森亨（公益財団法人結核予防会　結核研究所名誉所長）

■内容

本書は、ストップ結核パートナーシップ発行の「The Global Plan to End TB 2018-2022」を日本リザルツが翻訳した。

国連の結核終息目標を達成するためには、2018～2022年の5年間で778億米ドルが必要とされている。本世界計画は、結核に関する国連総会ハイレベル会合で設定された同目標を達成するために必要な資源の概算を示し、誰も取り残さないための具体的な取組について記している。

結核は、単一の感染因子による疾病として、世界で最も多くの死者を出している。2018年には、推定1,000万人が結核に罹り、推定150万人が死亡した。また、2018年に新たに約50万人が薬剤耐性結核に感染したが、薬剤耐性結核患者のうち、実際に治療を受けているのは3人に一人である。2017年から2018年にかけての、世界における新規結核患者の減少率は、WHOが想定した、2030年までに結核流行を終息させるために必要とされるそれにはるかに及ばない。

結核対策に関する明確な投資計画とパラダイムシフトがなければ、結核終息の目標を2030年までに達成することはできない。